

令和5年播種（令和6年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔12月15日調査結果〕

*調査は12月14日に行っている

1. 供試品種および耕種概要（中旬区・下旬区共通）（中旬播種区）

供試品種	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦		シラネコムギ 夏黄金

- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6.0 kg/a
- ・排水対策：暗渠および弾丸暗渠
(ほ場長辺方向 5m×ほ場短辺方向 2.5m 間隔)
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換初年目(前作水稻)

- ・播種期：10月19日
- ・播種量：0.9 kg/a(ドリル播き、条間 25 cm)
- ・施肥：尿素磷加安 777 号
(N : 0.8 kg/a、P205 : 0.8 kg/a、K20 : 0.8 kg/a)

(下旬播種区)

- ・播種期：10月31日
- ・播種量：1.0 kg/a(ドリル播き、条間 25 cm)
- ・施肥：(中旬播種区と同じ)

2. 気象概況〔10月～12月上旬〕(図1)

- ・平均気温は、11月上旬が高温で、11月第3半旬が低温で経過した。
- ・降水量は、11月第2半旬と第4半旬は多雨となったが、概ね少雨傾向であった
- ・日照時間は、10月が多照で、11月第2半旬～第3半旬、第6半旬が寡照であった。

3. 生育概況

1) 播種・出芽状況(表1)

- ・中旬播種区の出芽日数は大麦・小麦ともに10日で概ね平年並だった
- ・下旬播種区の出芽日数は大麦が9日で平年より3日早く、小麦が10日で2日早かった。
- ・出芽揃いは、大麦と小麦ともに「良」であった。

2) 12月14日現在の生育状況(表2)

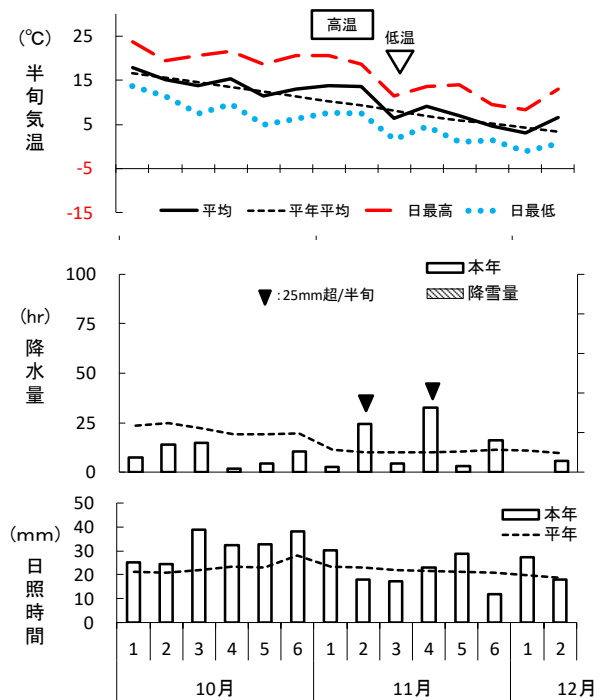


図1 気象経過 古川アメダス

中旬播種区

- ・草丈は、大麦が13.8～14.1 cm、小麦が12.5～15.8 cmで平年を上回った。
- ・茎数は、大麦が519～561 本/m²で平年並～平年より少なく、小麦が530～661 本/m²で平年より多かった。
- ・葉数は、大麦が5.2～5.6枚、小麦が5.3～5.5枚であった。

下旬播種区

- ・草丈は、大麦が7.8～8.3 cmで平年並～平年より長く、小麦が8.8～11.2 cmで平年よりも長かった。
- ・茎数は、大麦が298～301 本/m²、小麦が281～375 本/m²で平年を上回った。
- ・葉数は、大麦が3.2～3.4枚で小麦が3.5～3.5枚であった。

3) 幼穂長及び幼穂分化程度(表3)

- ・中旬播種区の大麦の幼穂長は0.5～0.8mm、小麦は0.2mmであった。
- ・下旬播種区の大麦の幼穂長は0.3mm、小麦は0.1mmであった。
- ・12月14日現在、いずれの播種期・品種も、幼穂形成始期には達していない。

4. 栽培管理の状況

- ・播種後はボクサーを散布し、1回目の踏圧を12月14日に行った。

表1 出芽状況

品種	区別	播種期	出芽期	出芽日数			出芽良否	
				本年	前年差	平年差		
大麦	シュンライ	中甸播種区	10/19	10/29	10	0	0	良
		下甸播種区	10/31	11/9	9	-4	-3	良
	ミノリムギ	中甸播種区	10/19	10/29	10	0	+1	良
		下甸播種区	10/31	11/9	9	-4	-3	良
小麦	シラネコムギ	中甸播種区	10/19	10/29	10	0	0	良
		下甸播種区	10/31	11/10	10	-3	-2	良
	夏黄金	中甸播種区	10/19	10/29	10	0	0	良
		下甸播種区	10/31	11/10	10	-3	-2	良

注1) 出芽日数: 播種翌日から出芽期までの日数。

注2) 出芽良否: 出芽率 80%以上を「良」、60%以下を「不良」、その中間を「中」とする。

注3) 中甸播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注4) 下甸播種区は平成 29 年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

表2 生育状況

品種	区別	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(枚)			
		本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	
大麦	シュンライ	中甸播種区	13.8	124	130	519	76	92	5.6	+0.2	+1.0
		下甸播種区	7.8	108	107	298	126	111	3.2	+0.1	+0.2
	ミノリムギ	中甸播種区	14.1	110	124	561	74	100	5.2	0.0	+0.5
		下甸播種区	8.3	100	104	301	124	113	3.4	+0.2	+0.4
小麦	シラネコムギ	中甸播種区	15.8	126	136	661	74	134	5.5	+0.2	+0.6
		下甸播種区	11.2	92	110	375	161	164	3.5	+0.2	+0.2
	夏黄金	中甸播種区	12.5	126	114	530	172	145	5.3	+0.1	+0.5
		下甸播種区	8.8	92	105	281	157	137	3.3	0.0	+0.2

注1) 中甸播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 下甸播種区は平成 29 年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注3) 越冬前目標生育量: 葉数4~5枚、分けつ1~2本、茎数 400~500 本/m²。

表3 幼穂長及び幼穂分化程度

品種	区別	幼穂長(mm)			幼穂分化程度	幼穂形成始期(月/日)			
		本年	前年差	平年差		本年	前年	平年	
大麦	シュンライ	中甸播種区	0.8	0.0	+0.1	VII	-	1/5	1/28
		下甸播種区	0.3	+0.1	+0.1	V未満	-	3/2	3/3
	ミノリムギ	中甸播種区	0.5	-0.1	0.0	VI	-	1/14	2/8
		下甸播種区	0.3	0.0	+0.1	V未満	-	3/2	3/4
小麦	シラネコムギ	中甸播種区	0.2	-0.1	0.0	V未満	-	3/6	3/10
		下甸播種区	0.1	0.0	0.0	V未満	-	3/11	3/19
	夏黄金	中甸播種区	0.2	0.0	0.0	V未満	-	3/4	3/10
		下甸播種区	0.1	0.0	0.0	V未満	-	3/11	3/20

注1) 中甸播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 下甸播種区は平成 29 年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注3) 幼穂分化程度: V期未満は省略。

注4) 幼穂形成始期: 幼穂長1mm に達した日。

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期	小穂分化期			穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0

注1) 幼穂分化程度は I ~ X の10期に分類されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略した。

注2) 厳密にはVII期は前期と後期に、IX期は前期、中期、後期に区分される。

令和5年播種（令和6年産）麦類生育調査ほ生育状況〔12月15日調査結果〕

表1 令和5年播種（令和6年産）麦類 生育調査ほ 耕種概要

担当普及 センター	品種名	実施場所	排水対策 (明渠、暗渠等)	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	出芽良否 (良・中・不良)
大河原	シュンライ	大河原町金ヶ瀬	なし	11/16	0.8	良
	ホワイトファイバー	大河原町金ヶ瀬	なし	11/11	0.8	良
仙台	シュンライ	仙台市宮城野区	明渠	10/16	1	良
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	本暗渠	10/20	1	良
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	明渠、弾丸暗渠	10/26	1.4	良
	夏黄金	涌谷町猪岡	明渠、本暗渠、弾丸暗渠	10/23	1.05	良
登米	あおばの恋	登米市豊里町	暗渠	11/1	1	良
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	明渠、本暗渠、弾丸暗渠	10/2	0.9	良
	ミノリムギ	石巻市桃生町	明渠、本暗渠、弾丸暗渠	10/14	0.9	良
	シラネコムギ	石巻市桃生町	明渠、本暗渠、弾丸暗渠	10/25	0.9	良

注1) 播種様式は「ドリル撒き」。

注2) 出芽良否：良：良：80%以上、中：良と不良の中間、不良：60%以下。

表2 麦類生育調査ほ 生育状況

担当普及 センター	品種	実施場所	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長 (mm)
			本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	
大河原	シュンライ	大河原町金ヶ瀬	7.1	111	102	253	214	146	-
	ホワイトファイバー	大河原町金ヶ瀬	7.0	89	-	203	226	-	-
仙台	シュンライ	仙台市宮城野区	11.5	102	-	492	59	-	0.8
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	16.5	120	136	678	273	224	-
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	14.4	121	213	555	56	156	-
	夏黄金	涌谷町猪岡	12.7	123	-	422	133	-	-
登米	あおばの恋	登米市豊里町	12.2	140	171	186	82	99	-
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	26.7	192	246	747	115	177	1.2
	ミノリムギ	石巻市桃生町	15.4	119	127	542	94	185	0.8
	シラネコムギ	石巻市桃生町	11.6	-	-	349	-	-	0.0

注1) 平年値は、過去7か年中の値から、最高値と最低値を除いた5か年の平均値。

注2) 大河原町「ホワイトファイバー」は、令和元年播種から調査のため、平年値(比・差)はない。

注3) 仙台市「シュンライ」は、令和4年度播種から調査のため、平年値・前年値(比・差)はない。

注4) 石巻市「シラネコムギは」調査地変更のため、前年値、平年値はない。

注5) 幼穂長の「-」は未調査であることを示す。観察の結果、幼穂を確認できなかった場合は「0」と示す。

<生育調査ほの状況等>

大河原 「シュンライ」、「ホワイトファイバー」

- ・播種期は「シュンライ」が11月16日で「ホワイトファイバー」が11月11日であった。前作大豆(あやこがね)の成熟期、収穫期が遅くなったことで例年よりも播種が遅くなった。
- ・播種期が遅かったため、出芽はやや遅かったが、出芽揃いは良かった。
- ・12月15日現在の生育量は、やや小さめであったが、特に障害は見られなかった。

仙台 「シュンライ」

- ・播種期の気象は、平年より気温が高く、日照時間も多かったため、出芽が揃っていた。
- ・播種は前年とほぼ同じ時期に行われた。
- ・12月15日現在の生育量は茎数が500本弱で、年内の目標値に達している。
- ・分げつは2本程度。幼穂長は0.8mmで幼穂形成始期には達していない。

大崎 「シラネコムギ」

- ・播種時期は降水量が少なく、平年より早い10月20日の播種となった。
- ・出芽良否は良であり、出芽ムラは少なかった。
- ・気温は平年より高い期間が長く、降雪量は少ない傾向で推移した。
- ・12月15日現在の生育量は、草丈が16.5cmで平年比133%、茎数が678.3本/m²で平年比188%であった。
- ・平年は越冬前に雑草の発生はほとんどないが、本年はノゲシ、ヤエムグラ、ハコベ等の雑草が散見されたため、越冬前に茎葉処理剤を散布した。

美里 「シラネコムギ」、「夏黄金」

- ・シラネコムギ、夏黄金とも出芽揃いは良く、生育順調で今のところ鳥害はなし。
- ・12/12の降雨で、両品種とも明渠に滞水しているが、湿害は見られない。

登米 「あおばの恋」

- ・前年より7日早く概ね適期に播種し、播種後に降雨もあったことから、出芽は良好だった。
- ・温暖で降雪がないことにより、例年同様マガン等による食害が見られる。
- ・12月15日現在の茎数は、前年比85%となっている

石巻 「シュンライ」、「ミノリムギ」、「シラネコムギ」

- ・播種期は「シュンライ」10月2日、「ミノリムギ」10月14日。「シラネコムギ」10月25日。
- ・出芽良否は3ほ場とも良であった。
- ・10月の平均気温は平年差+0.5℃、日照時間は平年比139%、降水量は平年比55%であった。稲刈りが早めに進み、降雨も少なかったため、播種作業が順調に進んだ。11月の平均気温は平年差+1.6℃、日照時間は平年比112%、降水量は平年比109%だった。平均気温が平年よりも高く、生育が進んだ。
- ・シラネコムギにおいて葉先の鳥害が見られた。
- ・麦踏みは「シュンライ」「ミノリムギ」「シラネコムギ」ともに実施済み。

*R6年産からシラネコムギの調査地を変更。